

宇都宮市

【事業の名称・プログラム区分】

事業の名称：訪問指導事業

プログラム区分：特定高齢者施策（閉じこもり予防・支援プログラム）

1 本事業の特徴

【事業概要】

特定高齢者のうち、閉じこもり予防・支援が必要な高齢者の居宅を訪問し、閉じこもりの危険性の啓発及び高齢者が閉じこもりを解消するための具体的な支援を行う。

2 自治体の概要

【人口、高齢化率、特定高齢者数】

人口：503,812人（H19.12月末現在）

高齢化率：18.0%（高齢者人口 80,894人）

特定高齢者数：1,115人（H19.12月末現在）

【圏域数、地域包括支援センター数】

圏域数：25圏域

地域包括支援センター数：25箇所（すべて委託）

3 事業の体制づくり

【直営（担当課）or 委託（委託先事業者）】

直営により実施。（高齢福祉課，上河内・河内地域自治センター 保健福祉課）

【事業従事者】

保健師，看護師（初回は2名で訪問、2回目からは看護師）

【対象者の選定方法】

特定高齢者の決定基準に基づき特定された特定高齢者のうち、閉じこもり予防・支援に該当し、地域包括支援センターが訪問し介護予防ケアマネジメントを実施し、介護予防ケアプランにサービス利用が位置づけられた者。

【事業の周知方法】

健康づくりのしおり，高齢者サービスのしおり，広報紙，チラシ，地域包括支援センターにて勧奨

【送迎の有無】

なし

【費用】

無料

【ボランティアとの連携】

必要に応じ、日頃の安否確認などについて民生委員、福祉協力員等と連携を図る。

4 事業の実施状況

【実施期間、回数、1回当たりの時間】

実施期間：3か月～6か月

実施回数：月1～2回（状況に応じて実施）

実施時間：1時間

【参加者数】

5人

【プログラム内容】

事前アセスメント、閉じこもりの危険性についての啓発用パンフレットの配布、実行したい目標の設定、社会資源の紹介、事後アセスメント

（例）新聞の内容を話してもらい、楽器と一緒に弾いたり歌と一緒に歌う、誰かにプレゼントするために折り紙を折る、等。

5 事業の評価・課題

【事業の効果】

定期的な訪問により、本人の生活が活性化した。また、折り紙を人にプレゼントできるようになったり、中には週に一度買い物に出られるようになった事例もあった。

【利用者の声】

訪問があると「話をしたい」という要望がある。

【課題】

本人や家族が、閉じこもりについて問題を感じていないため、啓発についての必要性を感じている。

問合せ先	宇都宮市保健福祉部高齢福祉課 ☎028-632-2356 FAX028-632-3040
------	---